

製品名: IL-12A ウサギポリクローナル抗体**カタログ番号: APRab12492**

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,ELISA
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,IHC 1:50-1:300,ICC/IF 1:50-1:200,ELISA 1:10000-1:20000
分子量	25kDa

抗原情報

遺伝子名	IL12A
別名	IL12A; NKSF1; Interleukin-12 subunit alpha; IL-12A; Cytotoxic lymphocyte maturation factor 35 kDa subunit; CLMF p35; IL-12 subunit p35; NK cell stimulatory factor chain 1; NKSF1
遺伝子 ID	3592.0
SwissProt ID	P29459
免疫原	抗血清はヒト IL-12A 由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 16-65

背景

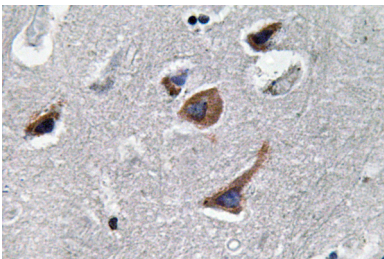
この遺伝子は、T細胞およびナチュラルキラー細胞に作用し、幅広い生物学的活性を有するサイトカインのサブユニットをコードして

います。このサイトカインは、この遺伝子によってコードされる 35kD のサブユニットと、サイトカイン受容体ファミリーに属する 40kD のサブユニットから構成されるジスルフィド結合ヘテロ二量体です。このサイトカインは、T細胞非依存性のインターフェロン (IFN) - γ 誘導に必須であり、Th1 細胞と Th2 細胞の両方の分化に重要です。このサイトカインに対するリンパ球の反応は、転写活性化タンパク質 STAT4 を介して媒介されます。自然免疫におけるこのサイトカインのシグナル伝達には、一酸化窒素合成酵素 2A (NOS2A/NOS2) が必要であることが分かっています。 [RefSeq 提供、2008 年 7 月],機能: 活性化 T 細胞および NK 細胞の増殖因子として作用し、NK/リンホカイン活性化キラー細胞の溶解活性を高め、休止期 PBMC による IFN- γ 産生を刺激するサイトカイン。 ,オンライン情報: インターロイキン-12 のエントリ,類似性: IL-6 スーパーファミリーに属する。 ,サブユニット: IL-12B とのヘテロ二量体で、ジスルフィド結合している。このヘテロ二量体はインターロイキン IL-12 として知られている。 ,

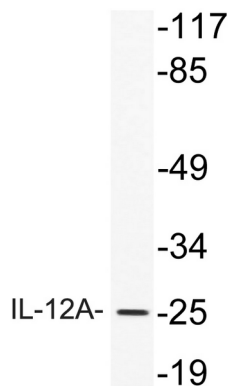
研究分野

サイトカイン-サイトカイン受容体相互作用;Toll_Like;RIG-I 様受容体;Jak_STAT;I 型糖尿病;同種移植拒絶反応;

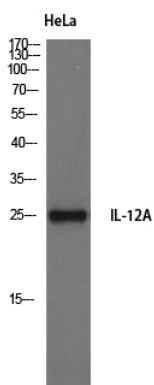
画像データ



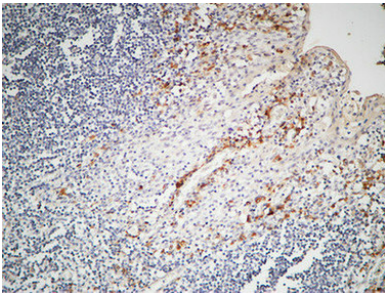
パラフィン包埋ヒト脳組織における IL-12A 抗体の免疫組織化学分析。



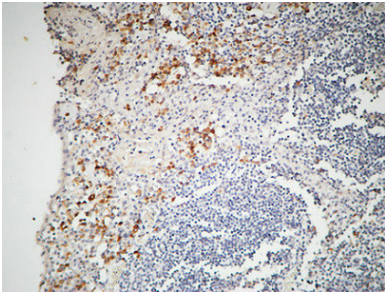
IL-12A 抗体を使用した HeLa 細胞の溶解液のウェスタンブロット分析。



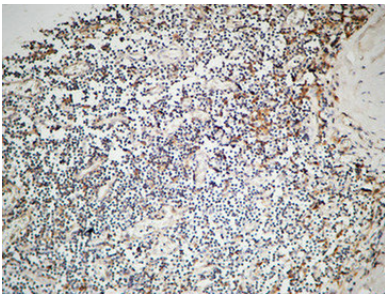
IL-12A ポリクローナル抗体を用いた HeLa 細胞のウェスタンブロット解析



パラフィン包埋ヒト扁桃体の免疫組織化学分析。1、抗体を 1:200 に希釈 (4°、一晚)。2、高圧高温 EDTA (pH8.0) を抗原賦活化に使用。3、二次抗体を 1:200 に希釈 (室温、30分)。



パラフィン包埋ヒト扁桃体の免疫組織化学分析。1、抗体を 1:200 に希釈 (4°、一晚)。2、高圧高温 EDTA (pH8.0) を抗原賦活化に使用。3、二次抗体を 1:200 に希釈 (室温、30分)。



パラフィン包埋ヒト扁桃体の免疫組織化学分析。1、抗体を 1:200 に希釈 (4°、一晚)。2、高圧高温 EDTA (pH8.0) を抗原賦活化に使用。3、二次抗体を 1:200 に希釈 (室温、30分)。